

## 専修大学入門ゼミナール：端末室での実習（2016年度）

### 実習1：

#### 実習1の内容

CiNii Books (<http://ci.nii.ac.jp/books/>) のホームページにアクセスして、図書・雑誌の検索方法を学ぶ。

1. **準備**：インターネット・エクスプローラーを開き、検索バーに「**CiNii Books**」（「サイニーブックス」と読む）と入力して（マウスの左ボタンを）クリック
2. **図書・雑誌の検索**：CiNii Books のページを開く。「図書・雑誌検索」になっていることを確認して、検索バー（下のフリーワードと書かれているところ）に「**アベノミクス**」と入力し、右の「**検索**」をクリックする。（タイトルにアベノミクスを含む図書・雑誌を検索）



3. **図書の所蔵を調べる**：興味を持った図書の所蔵を調べる。ここでは、原田泰, 齊藤誠編著『徹底分析アベノミクス：成果と課題』を選んでクリック。（検索結果2ページ目の中ほど。）「大学図書館所蔵」の項目を見ると、専修大学図書館も所蔵していることが分かる。「専修大学図書館」の隣の「**OPAC**」（「オーパック」と読む）をクリックすると、図書館のどこに配置してあるかなどの情報が分かる。（配置場所と請求記号を下に書き出してみよう）

配置場所：

請求記号：

※図書だけでなく、論文を検索することも可能。上記の画像の「日本の論文をさがす」をクリックすると論文検索用の CiNii (<http://ci.nii.ac.jp>) が出てくる

※専修大学が所蔵していない場合でも、図書館を通じて所蔵機関への紹介状をもらったり、図書資料や論文資料を複写して送付してもらうことが可能

※専修大学が所蔵する書籍の中から調べたい場合は、「専修大学図書館 OPAC システム」(<http://opac.acc.senshu-u.ac.jp/>) から検索することができる

## 実習2：

### 実習2の内容

総務省統計局統計センター(<http://www.stat.go.jp/>)のホームページにアクセスして、経済データの検索方法を学ぶ。さらに、世界各国の国内総生産の実質成長率(実質 GDP 成長率)のデータをダウンロードし、エクセルを用いたファイルの編集、グラフの作成方法を学ぶ。

1. **グラフ作成の準備**：インターネット・エクスプローラーを開き、検索バーに「総務省統計局」と入力してクリック

2. **データの検索**：リンクをたどっていく

「総務省統計局統計センタートップページ」(<http://www.stat.go.jp/>)

→「世界の統計」(<http://www.stat.go.jp/data/sekai/index.htm>)

The screenshot shows the '世界の統計' (World Statistics) page. On the left, there is a sidebar with '総合統計書のご案内' and '本書の内容' (Table of Contents) which lists: 利用上の注意, 目次, 索引, バックナンバー, 正誤情報, Q&A, and 問合せ先. The main content area is titled '世界の統計 2016' and contains a description of the book and a cover image of the report. The cover image shows the Christ the Redeemer statue in Rio de Janeiro.

→「本書の内容」

→「目次」

→「第3章 国民経済計算」<http://www.stat.go.jp/data/sekai/0116.htm#c03>

→「3-4 国内総生産の実質成長率」の順にアクセス

### 3-4 国内総生産の実質成長率 (エクセル:177KB)

〔出典〕

UN, [National Accounts Main Aggregates Database](#) 【参考】データベースの使い方

2016年1月ダウンロード

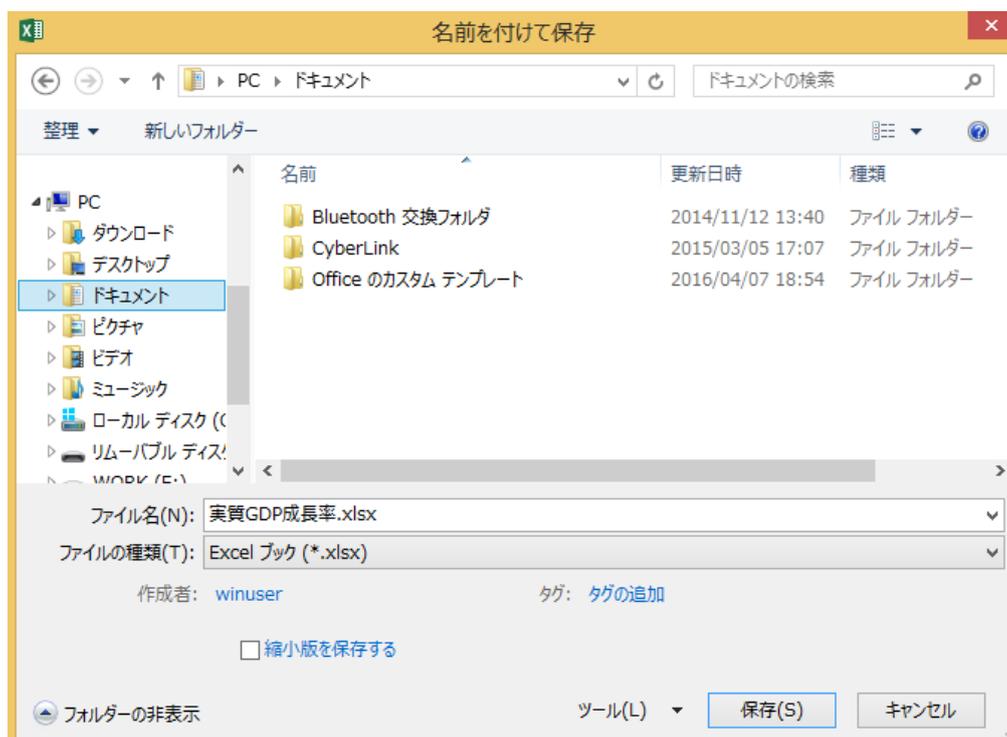
〔解説〕

名目GDPから物価変動による影響を除いた実質GDPの成長率(対前年増減率)。

ここをクリック

3. **ファイルの保存**：画面に現れた世界の実質 GDP 成長率のデータ（データはファイルの 3-4(1)～(2)のシートにある）を、次の順序で自分のディレクトリに保存。

- (1) 「ファイル」ボタンをクリック、メニューの一覧から「名前を付けて保存」を選択してクリックする。
- (2) 保存先として「コンピュータ」→「ドキュメント」を選ぶ。「ファイル名(N)」(下から2行目)の右側の空欄に「実質 GDP 成長率」と入力し、「ファイルの種類(T)」は「Excel ブック (.xlsx)」にする。下側にある「保存」をクリックして、データを「実質 GDP 成長率.xlsx」という名前で保存する。



4. インターネット・エクスプローラーを終了。エクスプローラー右上の「×」ボタンをクリックし、エクスプローラーを終了する（重要！）。次ぎにモニター画面上にある「PC」アイコンをクリック、続いて「ドキュメント」をクリックすると、保存した「実質 GDP 成長率.xlsx」が見つかる。これをクリックすればエクセルが起動し自動的にファイルが開く。

5. **グラフ用のデータテーブルの作成（1）シート**の挿入：グラフ作成のために、まず新しいシートに作成する。画面左下のシート名が書いてある部分の一番右（⊕マーク）をクリックすると、新しいシート（Sheet 1）が挿入される。

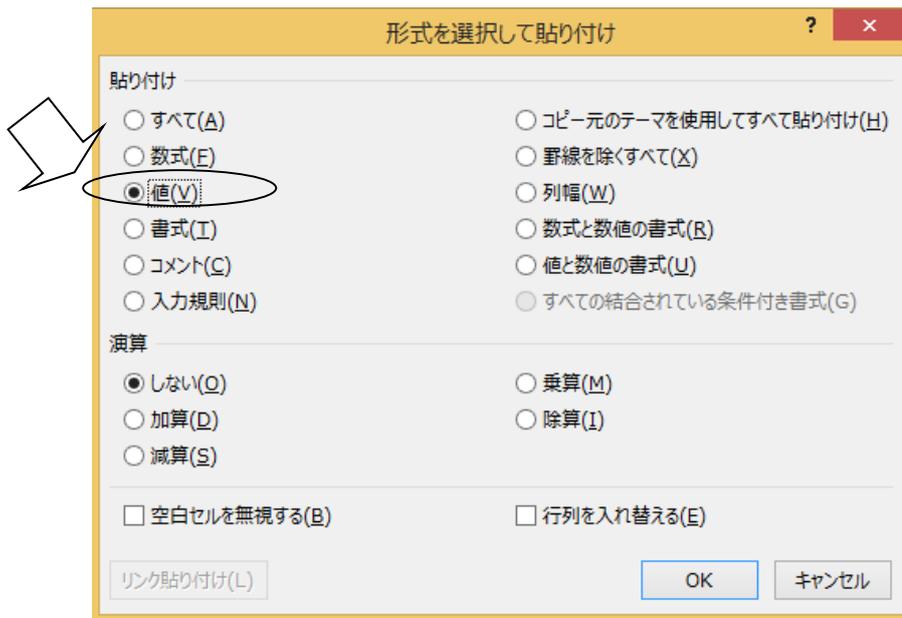
国（地域）	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
世界	4.1	3.6	4.1	3.9	1.4	-2.0	4.1	2.9	2.2	2.1	2.5
アジア											
日本 a	2.4	1.3	1.7	2.2	-1.0	-5.5	4.7	-0.5	1.7	1.4	-0.0
イスラエル	5.1	4.3	5.8	6.3	3.5	1.9	5.8	4.2	3.0	3.2	2.8
イラン	4.3	4.2	5.7	9.1	0.9	2.3	6.6	3.7	-6.6	-1.9	4.3
インド	8.3	9.3	9.3	9.8	3.9	8.5	10.3	6.6	5.1	6.9	7.3
インドネシア	5.0	5.7	5.5	6.3	6.0	4.6	6.2	6.2	6.0	5.6	5.0

6. **グラフ用のデータテーブルの作成（2）表**の作成：挿入した新しいシート（Sheet1）に、下記のような日本とアメリカの実質 GDP 成長率のデータをまとめた表を作成する。（手順は次ページの(1)から(3)を参照）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
日本	2.4	1.3	1.7	2.2	-1	-5.5	4.7	-0.5	1.7	1.4	0
アメリカ	3.8	3.3	2.7	1.8	-0.3	-2.8	2.5	1.6	2.2	1.5	2.4

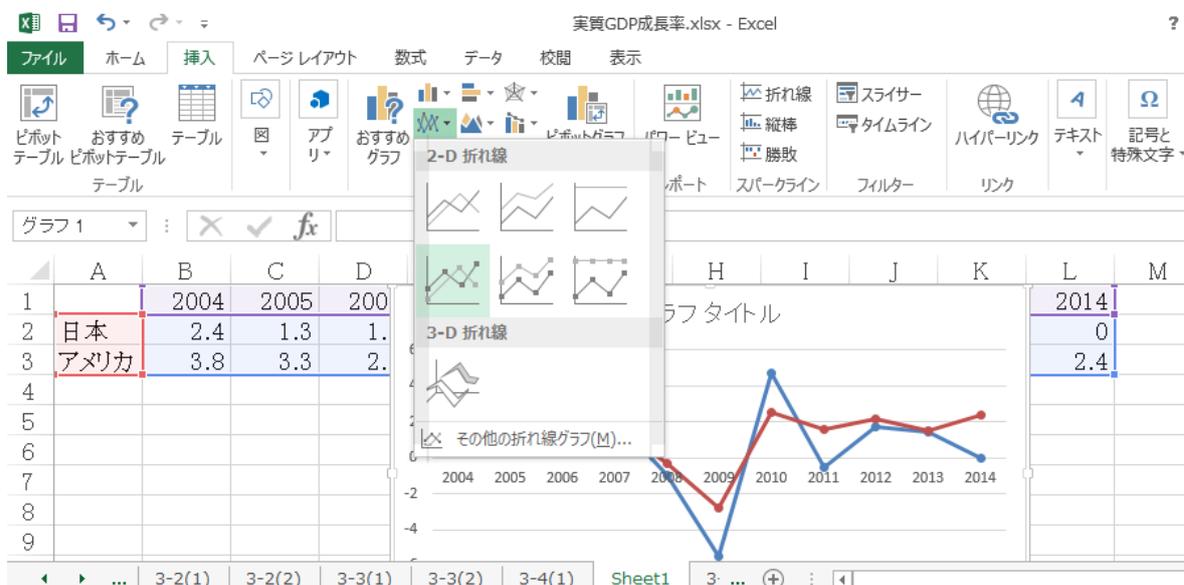
(1) 年数：シート 3-4(1)の B3 から L3 の部分の 2009 から 2014 までを選択する（網掛け表示にする）。具体的には、2009 が記入されたセル（B3）のセルをクリックし、そのままマウスの左ボタンを押し続けながらカーソルを 2014 が記入されたセル（L3）まで移動させる。選択ができたなら、そのまま右クリックをし、「コピー(C)」を選択する。その後、新しいシートに移動（左下の「Sheet 1」をクリック）し、B1 から L1 のセルに貼り付ける。貼り付けるには、B1 から L1 を選択したのち、右クリックしてその中から「形式を選択して貼り付け(S)」を選ぶ。そのあとにでてくるウィンドウで「値(V)」にチェックを入れて「OK」を選択する。

		B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
3-4 国内総生産の実質成長率(1)												
	国（地域）	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
5	世界	4.1	3.6	4.1	3.9	1.4	-2.0	4.1				
6	アジア											
7	日本 a	2.4	1.3	1.7	2.2	-1.0	-5.5	4.7				
8	イスラエル	5.1	4.3	5.8	6.3	3.5	1.9	5.8				
9	イラン	4.3	4.2	5.7	9.1	0.9	2.3	6.6				
10	インド	8.3	9.3	9.3	9.8	3.9	8.5	10.3				
11	インドネシア	5.0	5.7	5.5	6.3	6.0	4.6	6.2				
12	オマーン	1.3	2.5	5.4	4.5	8.2	6.1	4.8				



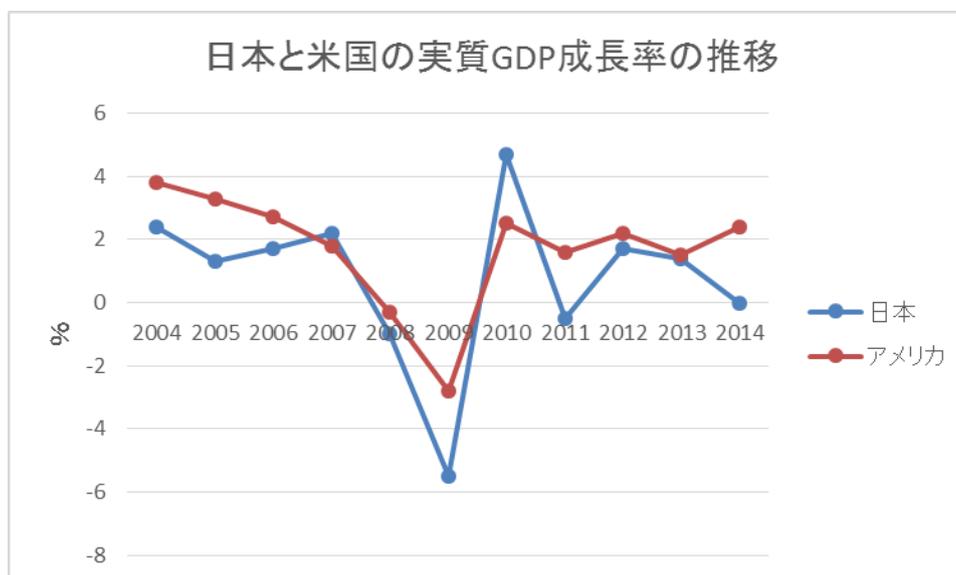
- (2) 日本：A2に「日本」と記入する。シート 3-4(1)にある 2009 年から 2014 年の日本の実質 GDP 成長率のデータを年数と同様の方法でコピーし、新しいシート (Sheet1) の B2 から L2 のセルに貼り付ける。
- (3) アメリカ：上記と同様にアメリカの実質 GDP 成長率のデータもコピーして貼り付ける。アメリカのデータはシート 3-4(1)の 33 行目にある。

7. **グラフの作成**： Sheet1 に作成した表全体が網掛けになるように選択する。（A1 のセルを選択して、クリックしたまま右下の L3 の部分までドラッグする）次に、[挿入]タブをクリック、[グラフ]グループの[折れ線]を選ぶ。グラフ一覧のなかから、2-D 折れ線の「マーカー付き折れ線」を選択すると、同じシート上にグラフができる。

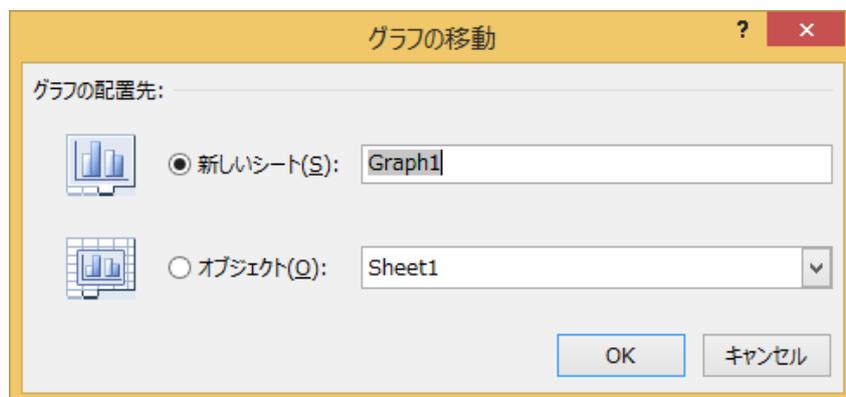


### 8. グラフのレイアウト：

シート上のグラフをクリックし、アクティブの状態（グラフが枠で囲まれた状態）にすると、エクセルのウィンドウの上の枠にグラフツールが現れる。このグラフツールの[デザイン]タブをクリックし、[グラフのレイアウト]の中での[クイックレイアウト]グループから、左上の「レイアウト 1」を選択する。グラフには、「グラフタイトル」、「軸ラベル」の文字が現れる。グラフタイトルをクリックし、「日本と米国の実質 GDP 成長率の推移」と入力。同様に、軸ラベルには、「パーセント」または「%」と入力する。（このときの「%」は横向きになっている）



9. **グラフの作成場所とレイアウト** : グラフエリアがアクティブの状態、グラフ上にマウスのポインターを置き、マウス右のボタンをクリックする。出てきたメニューのウィンドウの中から、「グラフの移動(M)」を実行。グラフ移動のウィンドウにある「新しいシート(S)」をチェックして、「OK」をクリックして一応の完成。



#### 10. 軸ラベルなどの書式設定 :

グラフ縦軸の「% (パーセント)」の文字は横向きなので修正する。

「%」の文字をクリックする。シートの右側に出てくる「軸ラベルの書式設定」の中で「サイズとプロパティ」(3つあるアイコンのうち一番右)をクリックする。すると「配置」が開くので、「文字列の方向(X)」で「縦書き」を選ぶ。グラフの「%」の文字が縦書き表示になったことを確認して、右上の「X」ボタンをクリックして書式設定を閉じる。

### 軸ラベルの書式設定

タイトルのオプション ▼ | 文字のオプション



#### ▲ 配置

垂直方向の配置(V) 中心 ▼

文字列の方向(X) 縦書き ▼

ユーザー設定の角度(U) 0° ▼

テキストに合わせて図形のサイズを調整する(E)

テキストを図形からはみ出して表示する(O)

左余白(L) 0.25 cm ▼

右余白(R) 0.25 cm ▼

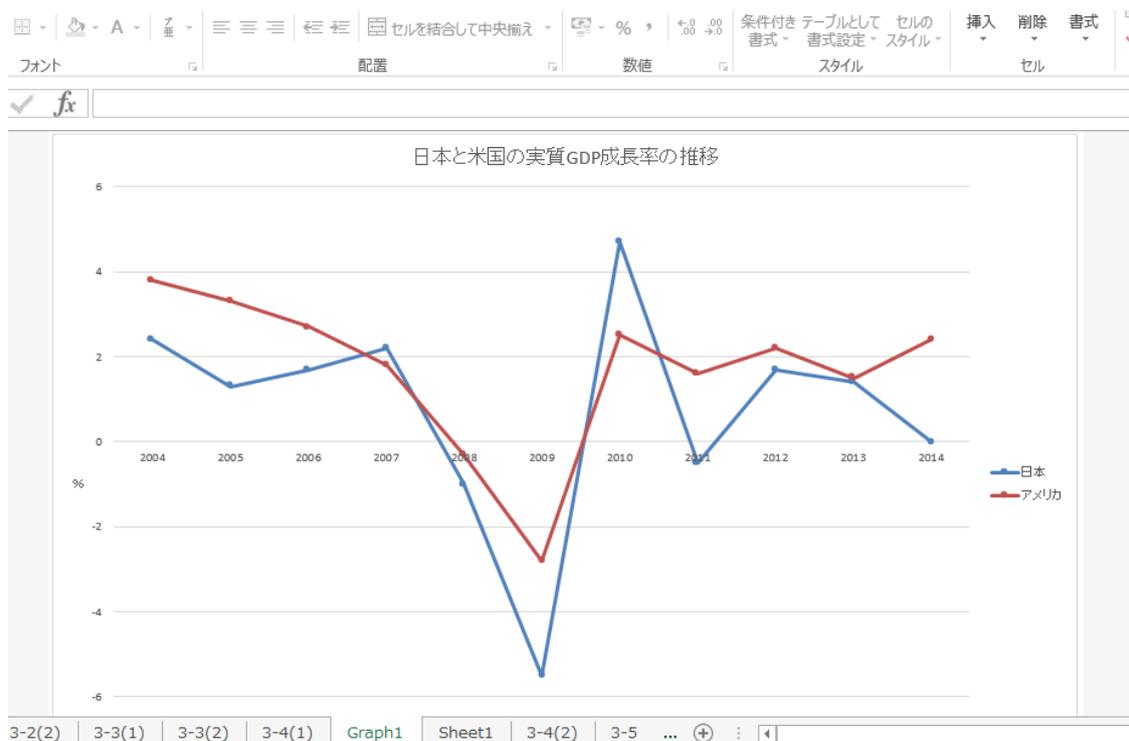
上余白(T) 0.13 cm ▼

下余白(B) 0.13 cm ▼

図形内でテキストを折り返す(W)

段組み(C)...

## 11. グラフの完成：以上の手順で、最終的に以下のようなグラフができあがる。



さらに色々工夫すると、例えば以下のように、白黒で印刷した場合にわかりやすいグラフができる。

